古墳文化

仏教伝来

①仏教伝来（西域・中国・朝鮮半島を経由して北方仏教(大乗仏教)が伝来）　cf. 東南アジアは南方仏教(小乗仏教)

（1）仏教私伝　**司馬達等**が私宅で仏像礼拝(522)＝『扶桑略記』(平安末期に延暦寺の僧皇円が著す)

（2）仏教公伝　**百済**の**聖明王**が**欽明天皇**に仏像と経典を献上

- **538年**(戊午)説＝『**上宮聖徳法王帝説**』『元興寺縁起』
- **552年**(壬申)説＝『**日本書紀**』

②崇仏論争
- **蘇我稲目**〔大臣〕 VS **物部尾輿**〔大連〕
- **蘇我馬子**〔大臣〕 VS **物部守屋**〔大連〕→**蘇我馬子**が**物部守屋**を滅ぼす(587)

飛鳥文化

氏族仏教

③仏法興隆の詔(594)（仏・法・僧の三宝を興せとの詔）

④**厩戸王**(**聖徳太子**)『**三経義疏**』(法華経・維摩経・勝鬘経の経典注釈書)

⑤**氏寺**（古墳に代わる豪族の権威の象徴として豪族が建立・管理した寺）の建立

- **蘇我馬子**＝**飛鳥寺**(**法興寺**)（588年に建立された日本最古の寺院）
- **聖徳太子**＝四天王寺（593年に難波(現在の大阪市四天王寺区)に建立）
- (**厩戸王**)　**法隆寺**(斑鳩寺)（607年に父の用明天皇のために建立された現存する世界最古の木造建造物→670年に炎上 in『日本書紀』）
- **秦　河勝**＝**広隆寺**(太秦寺)

★法隆寺再建非再建論争→若草伽藍跡(四天王寺式)の発掘調査(1939)で再建説が有力となる

［渡来僧（推古朝時に来日）］

恵慈（高句麗の僧→595年に来日し厩戸王に仏教を教授）
観勒（百　済の僧→602年に来日し暦・天文学を伝える）
曇徴（高句麗の僧→610年に来日し紙・墨・絵具を伝える）

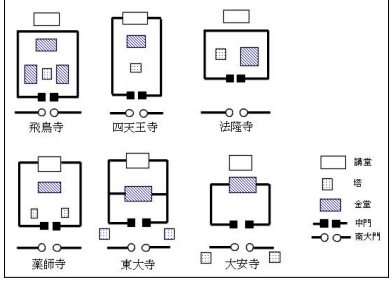
白鳳文化

国家仏教

⑥官大寺(官寺)（国家が建立・管理した寺）の建立（藤原京四大寺）

- **大官大寺**（639年に舒明天皇が創建した百済大寺を673年に移築）
- **薬　師　寺**（680年に天武天皇が皇后の病気平癒のため創建）
- 飛鳥寺(法興寺)・川原寺(弘福寺)

［伽藍配置］



天平文化

国家仏教の発展(鎮護国家仏教)

⑦官大寺の発展（南都七大寺）

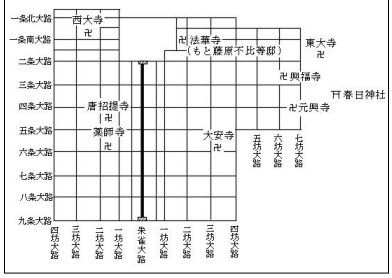
- **興福寺**（藤原氏の氏寺）
  - ★藤原鎌足が創建した山階寺が前身
- **東大寺**（聖武天皇が728年に建立）
- 西大寺（称徳天皇が765年に建立）
- 大安寺（移転に伴い大官大寺が改称）
- 元興寺（移転に伴い法興寺が改称）
- 薬師寺（藤原京寺院は本薬師寺とよぶ）
- (法隆寺)

［南都六宗］

（仏教の経典を学術的に研究する6学派）

法相宗（興福寺が中心寺院）
　道昭（最初の火葬者）が唐から伝える
華厳宗（東大寺が中心寺院）
律　宗（唐招提寺が中心寺院）
倶舎宗・三論宗・成実宗

［南都七大寺］



⑧護国の経典（鎮護国家を祈るために用いられた三つの経典）

護国三部経＝金光明最勝王経・仁王経・法華経(妙法蓮華経)

⑨僧尼令（国家による僧尼統制のため，許可なく得度する私度僧を禁止・民間布教を禁止）

聖武天皇

733年　**栄叡**・**普照**が渡唐（私度僧の増加に対して伝戒師制度の普及を目指す）
　僧侶に正式な戒律を授けるための伝戒師を招請するため鑑真に拝謁して来日を要請

741年　**国分寺建立の詔**（恭仁京で発布→全国に国分寺・国分尼寺の建立を命ずる）
　金光明四天王護国之寺（国分寺の正式名称）に金光明最勝王経を安置
　→僧20名を配置し，東大寺（華厳宗の中心寺院）を総国分寺とする
　法華滅罪之寺（国分尼寺の正式名称）に法華経(妙法蓮華経)を安置
　→尼10名を配置し，法華寺（もと藤原不比等の邸宅）を総国分尼寺とする

背景①＝飢饉・疫病の流行による社会不安
背景②＝藤原広嗣の乱(740)による政治不安
背景③＝国家仏教(官寺の建立・護国の経典)

743年　**大仏造立の詔**（紫香楽宮で発布→国中公麻呂〔大仏師〕らの技術で完成）
　盧舎那仏（大仏の正式名称）は華厳経（東大寺を中心とする華厳宗の根本経典）の本尊

孝謙天皇

752年　**東大寺**大仏開眼供養（菩提僊那〔開眼導師〕・仏哲〔雅楽師〕が林邑楽を伝える）
　★良弁（大仏開眼供養ののち，初代東大寺別当に就任した華厳宗の僧侶）

753年　**鑑真**（律宗の僧）が**戒律**を伝える　★淡海三船『唐大和上東征伝』(渡航記録)
　（1）東大寺に最初の戒壇を設立(754)　★聖武上皇・孝謙天皇が受戒
　　→天下三戒壇(東大寺・下野薬師寺・筑紫観世音寺)
　（2）**唐招提寺**を創建(759)　★唐招提寺鑑真和上像（乾漆像）

［社会事業］

①**行基**（灌漑施設など社会事業に尽力）
　僧尼令違反で政府に弾圧されるが，
　大仏造営に協力し大僧正に任じられる
②光明子(皇后)（聖武天皇の皇后）
　悲田院（貧窮者に食料を施す施設）
　施薬院（貧窮者に薬を施す施設）
③和気広虫(法均尼)
　恵美押勝の乱後の孤児養育につとめる

弘仁・貞観文化

密教の隆盛

①平安新仏教

→天台宗（桓武天皇が支持）・真言宗（嵯峨天皇が支持）の形成

宗派	開祖	教義	中心寺院	著書
天台宗	**最澄**（伝教大師） ★804年渡唐 →805年帰国	法華経（根本経典） ⇩ **顕教**（経典・修行による悟りを説く） →大乗戒壇設立を主張	**比叡山延暦寺**（近江国）	『山家学生式』 比叡山で学生を養成するための法式をまとめる 『**顕戒論**』 延暦寺の大乗戒壇設立に反対する南都諸宗への反論書
真言宗	**空海**（弘法大師） ★804年渡唐 →806年帰国	大日経・金剛頂経（根本経典） ⇩ **密教**（加持祈禱による現世利益を説く）	**高野山金剛峰寺**（紀伊国） **教王護国寺（東寺）** ★嵯峨天皇から賜る ［慈善事業］ ①綜芸種智院（庶民教育のための施設） ②満濃池（讃岐国）の修築	『三教指帰』 仏教・儒教・道教のうち仏教が優れていることを説く 『十住心論』 悟りを開くまでの過程を十の段階に分類した教理書

②**円仁・円珍**による天台宗の密教化

→のち，円仁と円珍の仏教解釈の違いからその末流が対立

→ **円仁**（慈覚大師）→ 山門派＝延暦寺

↳『入唐求法巡礼行記』（遣唐使時の巡礼日記）

→ **円珍**（智証大師）→ 寺門派＝園城寺（三井寺）

↳『行歴記』（遣唐使時の巡礼日記）

国風文化

密教の隆盛・浄土教の広まり

①**末法思想**（釈迦入滅後，正法→像法→末法の世となる思想）

★末法元年＝永承7年(1052年)

②**浄土教**（阿弥陀如来の住む浄土への往生を願う教え）

→「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えることで極楽往生できる

(1) 聖（正規の寺院から離れた民間の宗教者）

空也（庶民層へ布教し，市聖・阿弥陀聖と呼ばれる）

★六波羅蜜寺空也上人像（康勝が鎌倉時代に制作した彫刻）

源信（恵心僧都）（天台宗の高僧）

↳『**往生要集**』（往生の方法を示した仏教書）

(2) 往生伝（浄土往生を遂げたとされる人々の伝記を集めた編纂書）

慶滋保胤『日本往生極楽記』

三善為康『拾遺往生伝』・『後拾遺往生伝』

院政期文化

浄土教の隆盛

①院による仏教保護（上皇の仏教信仰→出家し法皇となる）

(1) 造寺造仏→六勝寺の建立

法勝寺（白河天皇）・尊勝寺（堀河天皇）・最勝寺（鳥羽天皇）

円勝寺（待賢門院）・成勝寺（崇徳天皇）・延勝寺（近衛天皇）

(2) 寺社参詣→熊野詣・高野詣（紀伊国）

②南都北嶺の僧兵による強訴

├ 南都＝**興福寺**（奈良法師）　春日神社の神木をもちい強訴

└ 北嶺＝**延暦寺**（山法師）　日吉神社の神輿をもちい強訴

★天下三不如意（白河法皇の意のままにならなかった3つ）

加茂川の水・双六のさいの目・山法師（in『源平盛衰記』）

図解NOTE［平安仏教］

弘仁・貞観文化

①顕教（経典を研究することで悟りを開く）

南都六宗（華厳経などを研究）

天台宗（法華経を研究）

②密教（加持祈禱による現世利益を説く）

→曼荼羅を用いた灌頂の儀式を受けたり，山岳修行を行って超自然的な力を体得した僧侶が，加持祈禱で病気平癒・立身出世・除災を行う

→貴族・皇族の支持を得る（保護を受ける）

※朝廷では法会など鎮護国家仏教の役割

③神仏習合（神祇思想＝仏教）の浸透（奈良時代～）

国風文化

④1052年を末法元年とする末法思想の広まり

→人々は現世に失望し，来世での幸福を願う

⑤浄土教（浄土への往生を願う来世利益を説く）

→念仏を唱え阿弥陀如来の住む浄土に往生する

→上流貴族・中流貴族の支持を得る

ex. 法成寺無量寿院（藤原道長が建立した阿弥陀堂）

平等院鳳凰堂（藤原頼通が建立した阿弥陀堂）

院政期文化

⑥聖による布教で地方伝播→地方豪族に普及

ex. 中尊寺金色堂（藤原清衡が平泉に建立した阿弥陀堂）

［末法思想］

正法（1000年間）　像法（1000年間）　末法（1万年間）

釈迦入滅　末法元年（永承7(1052)年）

古墳文化

仏教伝来

①仏教伝来（西域・中国・朝鮮半島を経由して北方仏教(大乗仏教)が伝来）　cf. 東南アジアは南方仏教(小乗仏教)

(1) 仏教私伝　＿＿＿＿が私宅で仏像礼拝(＿＿年)＝『＿＿＿＿』(平安末期に延暦寺の僧＿＿が著す)

(2) 仏教公伝　＿＿の＿＿＿が＿＿天皇に仏像と経典を献上

- ＿＿年(＿＿)説＝『＿＿＿＿＿＿』『＿＿＿＿』
- ＿＿年(＿＿)説＝『＿＿＿＿』

②崇仏論争
- ＿＿＿＿〔＿＿〕 VS ＿＿＿＿〔＿＿〕
- ＿＿＿＿〔＿＿〕 VS ＿＿＿＿〔＿＿〕→＿＿＿＿が＿＿＿＿を滅ぼす(＿＿年)

文化

③＿＿＿＿＿(594)（仏・法・僧の三宝を興せとの詔）

④＿＿＿(＿＿＿＿)『＿＿＿＿』(＿＿経・＿＿経・＿＿経の経典注釈書)

⑤＿＿（豪族が建立・管理した寺）の建立

- ＿＿＿＿＝＿＿寺(＿＿寺)（588年に建立された日本最古の寺院）
- ＿＿＿＿＝＿＿＿寺（593年に難波(現在の大阪市四天王寺区)に建立）
- (＿＿＿)　＿＿寺(＿＿寺)（＿＿年に父の＿＿天皇のために建立された現存する世界最古の木造建造物→＿＿年に炎上 in『＿＿＿』）
- ＿＿＿＿＝＿＿寺(太秦寺)　★法隆寺再建非再建論争→＿＿＿跡(四天王寺式)の発掘調査(1939)で再建説が有力となる

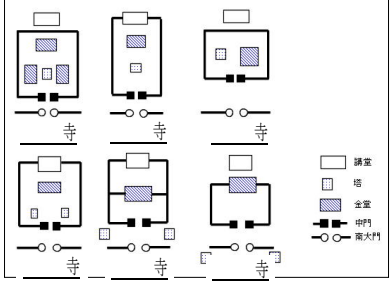
［渡来僧（推古朝時に来日）］
- ＿＿(高句麗の僧→595年に来日し厩戸王に仏教を教授)
- ＿＿(百　済の僧→＿＿年に来日し暦・天文学を伝える)
- ＿＿(高句麗の僧→＿＿年に来日し紙・墨・絵具を伝える)

文化

⑥＿＿＿＿＿（国家が建立・管理した寺）の建立（藤原京四大寺）

- ＿＿＿寺（639年に＿＿天皇が創建した＿＿寺を673年に移築）
- ＿＿＿寺（680年に＿＿天皇が皇后の病気平癒のため創建）
- ＿＿＿寺(＿＿寺)・＿＿＿寺(＿＿寺)

［＿＿＿＿］



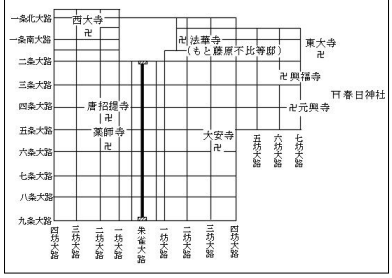
国家仏教の発展（文化）

⑦官大寺の発展（南都七大寺）

- ＿＿寺（藤原氏の氏寺）
- ★＿＿＿が創建した山階寺が前身
- ＿＿寺（聖武天皇が728年に建立）
- ＿＿寺（＿＿天皇が765年に建立）
- ＿＿寺（移転に伴い大官大寺が改称）
- ＿＿寺（移転に伴い法興寺が改称）
- ＿＿寺（藤原京寺院は本薬師寺とよぶ）
- (＿＿寺)

［南都六宗］
（仏教の経典を学術的に研究する6学派）
- ＿＿宗（興福寺が中心寺院）
- ＿＿＿（最初の火葬者）が唐から伝える
- ＿＿宗（東大寺が中心寺院）
- ＿＿宗（唐招提寺が中心寺院）
- ＿＿宗・＿＿宗・＿＿宗

［南都七大寺］



⑧護国の経典（鎮護国家を祈るために用いられた三つの経典）

護国三部経＝＿＿＿＿経・＿＿経・＿＿経(＿＿＿経)

⑨＿＿＿（国家による僧尼統制のため，許可なく得度する＿＿を禁止・民間布教を禁止）

天皇

733年　＿＿・＿＿が渡唐（私度僧の増加に対して伝戒師制度の普及を目指す）

→僧侶に正式な＿＿を授けるための伝戒師を招請するため＿＿に拝謁して来日を要請

＿＿年　＿＿＿＿＿＿（＿＿で発布→全国に＿＿・＿＿の建立を命ずる）

- 背景①＝飢饉・疫病の流行による社会不安
- 背景②＝＿＿＿＿(740)による政治不安
- 背景③＝国家仏教(官寺の建立・護国の経典)

＿＿＿＿＿＿（国分寺の正式名称）に＿＿＿＿経を安置

→僧＿＿名を配置し，＿＿寺（華厳宗の中心寺院）を総国分寺とする

＿＿＿＿（国分尼寺の正式名称）に＿＿経(＿＿＿経)を安置

→尼＿＿名を配置し，＿＿寺（もと藤原不比等の邸宅）を総国分尼寺とする

＿＿年　＿＿＿＿＿（＿＿＿で発布→＿＿＿〔大仏師〕らの技術で完成）

天皇

＿＿＿（大仏の正式名称）は＿＿経（東大寺を中心とする華厳宗の根本経典）の本尊

＿＿年　＿＿＿大仏開眼供養（＿＿＿〔開眼導師〕・＿＿〔雅楽師〕が＿＿＿を伝える）

★＿＿（大仏開眼供養ののち，初代東大寺別当に就任した華厳宗の僧侶）

＿＿年　＿＿＿（＿宗の僧）が＿＿＿を伝える　★＿＿＿『＿＿＿＿』(渡航記録)

(1) ＿＿＿寺に最初の戒壇を設立(754)　★聖武上皇・孝謙天皇が受戒

→天下三戒壇(＿＿＿寺・＿＿＿＿寺・＿＿＿＿＿寺)

(2) ＿＿＿＿寺を創建(＿＿年)　★＿＿＿寺＿＿＿像(＿＿像)

［社会事業］
- ①＿＿＿（灌漑施設など社会事業に尽力）
  僧尼令違反で政府に弾圧されるが，
  大仏造営に協力し＿＿＿に任じられる
- ②＿＿＿＿＿＿（聖武天皇の皇后）
  - ＿＿＿（貧窮者に食料を施す施設）
  - ＿＿＿（貧窮者に薬を施す施設）
- ③＿＿＿＿(＿＿＿)
  恵美押勝の乱後の孤児養育につとめる

文化 ・ 密教の隆盛

①平安新仏教
→ ＿＿宗（桓武天皇が支持）・＿＿宗（嵯峨天皇が支持）の形成

宗派	開　祖	教　　義	中心寺院	著　　書
＿＿宗	＿＿（＿＿） ★804年渡唐 →805年帰国	＿＿経（根本経典） ⇩ ＿＿（経典・修行による悟りを説く） →大乗戒壇設立を主張	＿＿＿＿寺（近江国）	『＿＿＿＿』 比叡山で学生を養成するための法式をまとめる 『＿＿＿』 延暦寺の大乗戒壇設立に反対する南都諸宗への反論書
＿＿宗	＿＿（＿＿） ★804年渡唐 →806年帰国	＿＿経・＿＿経（根本経典） ⇩ ＿＿（加持祈禱による現世利益を説く）	＿＿＿＿寺（紀伊国） ＿＿＿＿寺（＿＿寺） ★＿＿天皇から賜る	『＿＿＿』 仏教・儒教・道教のうち仏教が優れていることを説く 『＿＿＿』 悟りを開くまでの過程を十の段階に分類した教理書

［慈善事業］
①＿＿＿＿（庶民教育のための施設）
②＿＿＿（＿＿国）の修築

②＿＿・＿＿による天台宗の密教化
→のち，円仁と円珍の仏教解釈の違いからその末流が対立
→ ＿＿（慈覚大師）→ 山門派＝＿＿寺
↳『＿＿＿＿＿＿＿』（遣唐使時の巡礼日記）
→ ＿＿（智証大師）→ 寺門派＝＿＿寺（＿＿寺）
↳『行歴記』（遣唐使時の巡礼日記）

文化 ・ 密教の隆盛・浄土教の広まり

①＿＿＿＿（＿＿入滅後，＿＿→＿＿→＿＿の世となる思想）
★末法元年＝＿＿年（＿＿年）
②＿＿＿（＿＿＿の住む浄土への往生を願う教え）
→「南無阿弥陀仏」と＿＿を唱えることで極楽往生できる
(1) ＿＿（正規の寺院から離れた民間の宗教者）
＿＿＿（庶民層へ布教し，市聖・阿弥陀聖と呼ばれる）
★＿＿＿寺＿＿上人像（＿＿が鎌倉時代に制作した彫刻）
＿＿＿（＿＿＿＿）（天台宗の高僧）
↳『＿＿＿＿』（往生の方法を示した仏教書）
(2) 往生伝（浄土往生を遂げたとされる人々の伝記を集めた編纂書）
＿＿＿＿『＿＿＿＿＿』
＿＿＿＿『＿＿＿＿』・『後拾遺往生伝』

文化 ・ 浄土教の隆盛

①院による仏教保護（上皇の仏教信仰→出家し法皇となる）
(1) 造寺造仏→六勝寺の建立
＿＿寺（＿＿天皇）・＿＿寺（＿＿天皇）・最勝寺（鳥羽天皇）
円勝寺（待賢門院）・成勝寺（崇徳天皇）・延勝寺（近衛天皇）
(2) 寺社参詣→＿＿＿・＿＿＿（紀伊国）
②南都北嶺の＿＿による＿＿
├ 南都＝＿＿寺（＿＿＿＿） 春日神社の神木をもちい強訴
└ 北嶺＝＿＿寺（＿＿＿＿） 日吉神社の神輿をもちい強訴
★天下三不如意（＿＿法皇の意のままにならなかった3つ）
加茂川の水・双六のさいの目・＿＿＿（in『＿＿＿』）

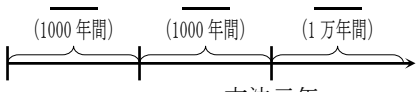
図解ＮＯＴＥ［平安仏教］

弘仁・貞観文化
①顕教(経典を研究することで悟りを開く)
南都六宗(華厳経などを研究)
天 台 宗(法華経を研究)
②密教(加持祈禱による現世利益を説く)
→曼荼羅を用いた灌頂の儀式を受けたり，山岳修行を行って超自然的な力を体得した僧侶が，加持祈禱で病気平癒・立身出世・除災を行う
→貴族・皇族の支持を得る(保護を受ける)
※朝廷では法会など鎮護国家仏教の役割
③神仏習合(神祇思想＝仏教)の浸透(奈良時代～)

国風文化
④1052年を末法元年とする末法思想の広まり
→人々は現世に失望し，来世での幸福を願う
⑤浄土教(浄土への往生を願う来世利益を説く)
→念仏を唱え阿弥陀如来の住む浄土に往生する
→上流貴族・中流貴族の支持を得る
ex. 法成寺無量寿院（藤原道長が建立した阿弥陀堂）
平等院鳳 凰 堂（藤原頼通が建立した阿弥陀堂）

院政期文化
⑥聖による布教で地方伝播→地方豪族に普及
ex. 中尊寺金色堂（藤原清衡が平泉に建立した阿弥陀堂）

［＿＿＿＿］



Ⓒ 仏教私伝『扶桑略記』by 皇円

①**継体天皇即位十六年**壬寅，大唐の漢人案部村主②**司馬達止**(等)，此の年春二月に入朝す。即ち草堂を大和国高市郡坂田原に結び，本尊を安置し，帰依礼拝す。世を挙げて皆云ふ，「是れ③**大唐の神**なり」と。

〔①**522 年**　②**鞍作鳥(止利仏師)**の祖父　③中国の神様〕

Ⓑ 仏教公伝『上宮聖徳法王帝説』

①**志癸嶋天皇**の御世に，②**戊午**の年の十月十二日に，**百済**国の主③**明王**，始めて仏の像経教并せて僧等を度し奉る。勅して**蘇我稲目**宿禰大臣に授けて興し隆えしむ。

〔①**欽明天皇**　②**538 年**　③**聖明王**〕

Ⓑ 仏教公伝『日本書紀』

(①**欽明天皇十三年**)冬十月，**百済**の**聖明王**……釈迦仏の金銅像一躯，②**幡蓋**若干，経論若干巻を献る。……(天皇)乃ち群臣に歴問して曰く，「③**西蕃**の献れる仏の相貌④**端厳**し。全ら未だ曾て有ず。⑤**礼**ふべきや不や」と。蘇我大臣**稲目**宿禰奏して曰さく，「西蕃の諸国，一に皆礼ふ。⑥**豊秋**日本，⑦**豈独り背かむや**」と。物部大連**尾輿**・中臣連**鎌子**，同じく奏して曰さく，「我が国家の，天下に王とましますは，恒に天地社稷の⑧**百八十神**を以て春夏秋冬，祭拝りたまふことを事とす。方に今改めて⑨**蕃神**を拝みたまはば，恐るらくは国神の怒を致したまはむ」と。⑩**天皇**曰く，情願ふ人**稲目**宿禰に付けて，試に礼ひ拝ましむねし」と。

〔①**552 年**。壬申　②仏堂内の荘厳具　③百済のこと　④端正で美しい　⑤礼拝　⑥日本の国号につけた美称　⑦どうして日本だけ背くことができるでしょうか　⑧たくさんの神々　⑨外国の神。仏のこと　⑩**欽明天皇**〕

Ⓒ 法隆寺の創建『法隆寺薬師如来像光背銘』

①**池辺の大宮に天下治しめしし天皇**②**大御身労づき賜ひし時**，③**歳は丙午に次る年**，④**大王天皇**⑤**太子**とを召して誓願し賜ひ，「我が大御病太平ならんと欲坐すが故に，将に寺を造りて⑥**薬師の像**を作り仕へ奉らんとす」と詔したまふ。然るに当時崩じ賜ひて造り堪へずありしかば，⑦**小治田の大宮に天下治しめしし大王天皇**及び⑧**東宮聖王**，大命を受け賜はりて⑨**歳は丁卯に次れる年**に仕へ奉る。

〔①**用明天皇**　②病気になられた時　③586 年　④推古天皇　⑤厩戸王(聖徳太子)　⑥薬師如来像　⑦**推古天皇**　⑧**厩戸王(聖徳太子)**　⑨607 年〕

Ⓒ 古事記の序文『古事記』

臣①**安万侶**言す。……是に於て②**天皇**詔すらく。「朕聞く。諸家の賫る所の③**帝紀**及び④**本辞**，既に正実に違ひ，多く虚偽を加ふ。今の時に当りて其の失を改めざれば，未だ幾年をも経ずして其の旨滅びむと欲す。斯れ乃ち邦家の経緯，王化の⑤**鴻基**なり。故惟に**帝紀**を撰録し，**旧辞**を⑥**討覈**し，偽を削り実を定め，後葉に流えむと欲す」と。時に⑦**舎人**有り。姓は**稗田**，名は**阿礼**。年は是れ廿八。人となり聡明にして，⑧**目に度れば口に誦み，耳に払るれば心に勒す**。即ち**阿礼**に勅語して，⑨**帝皇**の日継及び先代の**旧辞**を⑩**誦み習はしむ**。然れども⑪**運移り世異りて**，未だ其の事を行はず。伏して惟るに⑫**皇帝陛下**，……ここに於て**旧辞**の誤り忤えるを惜しみ，⑬**先紀**の謬り錯えるを正さむとして，⑭和銅四年九月十八日を以て臣**安万侶**に詔すらく。「**稗田阿礼**の誦める所の勅語の**旧辞**を撰録して以て献上せよ」者り。謹みて勅旨に随ひて子細に採り摭ふ。……大抵所記せるは，天地の開闢けしより始めて，⑬**小治田の御世**に訖る。……并せて三巻を録し，謹みて献上る。

⑯**和銅五年**正月二十八日　　正五位上勲五等太朝臣臣**安万侶**謹上

〔①**太安万侶**　②**天武天皇**　③歴代の天皇の事績や皇位継承の記録　④旧辞と同じ。神話や伝説など　⑤天皇が徳をもって人々を導くための基礎　⑥検討する　⑦天皇や皇子などの側近く仕え，雑事を勤めた下級官人　⑧一度見れば声に出して読み，一度聞けば記憶する　⑨天皇　⑩暗誦させる　⑪時代が移り，**天武天皇**から代が改まった　⑫**元明天皇**　⑬**帝紀**　⑭711 年　⑮**推古天皇**　⑯**712 年**〕

Ⓒ 風土記の編纂命令『続日本紀』

(①**和銅六年**)五月甲子。制すらく，畿内・**七道**諸国の郡・郷名は好き字を着けよ。其の郡内に生ずる所の，銀・銅・彩色・草木・禽獣・魚虫等の物は，具に②**色目**を録せしむ。……

〔①**713 年**　②種類・品目〕

Ⓒ 仏教私伝『扶桑略記』by 皇円

継体天皇即位16年の壬寅(**522年**)，中国の**鞍作鳥**(**止利仏師**)の祖父である**司馬達等**が，この年の春2月に来日した。彼はすぐに大和国高市郡坂田原(現在の奈良県高市郡明日香村の坂田付近)に草堂を建て，本尊を安置し，仏に帰依して礼拝した。世間の人が皆言うことには，「これは中国の神様だ」と。

Ⓑ 仏教公伝『上宮聖徳法王帝説』

志癸嶋天皇(**欽明天皇**)の治世，戊午の年(**538年**)の10月12日に，**百済**国の**聖明王**が初めて仏像・経文を伝え，僧侶をおくってきた。そこで天皇は命令を下し，大臣の**蘇我稲目**に仏像などを授け，仏法を盛んにさせたのである。

Ⓑ 仏教公伝『日本書紀』

欽明天皇13年(**552年**)冬10月，**百済**の**聖明王**が，…釈迦仏の金銅像一体と幡蓋(仏堂内の荘厳具)と，いくらかの経論を献上した。…そこで天皇は群臣に一人一人問いかけられた。「百済から献上された仏の顔は端正で美しい。いまだかつて見たことがないものであるが，礼拝すべきかどうか」と。大臣の**蘇我稲目**が申し上げた。「西隣りの国ではすべて礼拝しています。どうして日本だけがそむけましょうか」と。大連の**物部尾輿**と**中臣鎌子**が同じように申し上げた。「わが国で天下を支配されている天皇は，常に天地の多くの神々を春夏秋冬おまつりされることになっています。今，改めて外国の神を拝まれるならば，おそらくわが国の神の怒りをまねくことになりましょう」と。すると**欽明天皇**は，「では，礼拝を希望している**蘇我稲目**に仏像をあずけ，試みに礼拝させてみることにしよう」と述べられた。

Ⓒ 法隆寺の創建『法隆寺薬師如来像光背銘』

池辺宮で天下を治めていた天皇(**用明天皇**)は，自らが病気になられた586年，後の推古天皇と厩戸王(聖徳太子)に「私の病気が治ることを願って，寺を建立し薬師如来像を造りなさい」とお命じになりました。しかし，用明天皇は間もなく崩御なされて寺院建立は延期されていましたが，小治田宮で天下を治めていた天皇(**推古天皇**)と東宮聖王(**厩戸王**(**聖徳太子**))は，用明天皇の命令を受けて607年に寺を建立しました。

Ⓒ 古事記の序文『古事記』

臣**太安麻呂**が申し上げます。……天皇(**天武天皇**)がおっしゃった。「私の聞くところによれば，豪族の家々に伝わる**帝紀**や旧辞の記事は，すでに真実と異なり，多くの虚偽が加わっているという。今の内に，その誤りを改めなければ，何年も経たないうちに，本当のことがわからなくなってしまうだろう。こうした記録は国家にとって骨組みを示すものであり，天皇が民を導く基礎となるものである。そこで，**帝紀**を撰び記録し，**旧辞**を調べ尽くし，偽りの記録を削って真実を定め，後世に伝えたいと思う」と仰せられた。その時，天皇の側近くに仕える舎人に，姓は**稗田**，名は**阿礼**という者がいた。年齢は28で，聡明な人物であり，一度見ただけで音読することができ，一度聞いただけで記憶することができた。そこで，天皇は**阿礼**に命じて，皇位の継承についての記録や**旧辞**などの古い物語を誦み習わせた。しかしながら，時代が移り，代も改まったので(**天武天皇**が崩御されて)，その事業も実行することができなくなった。これを考慮なさった皇帝陛下(**元明天皇**)は，**旧辞**に誤りがあるのを残念に思い，先紀(**帝紀**)の誤りや不統一を正そうとされて，和銅四年(711年)9月18日に**太安麻呂**に「**稗田阿礼**が天武天皇の命によって誦み習った**旧辞**を撰び記録して，献上するように」と命じられた。そこで，御命令の通りに事細かに記録した。……記録した内容は，天地が開けてから小治田の御世(**推古天皇**)までである。そして，全3巻を記録して献上するものである。

和銅五年(**712年**)正月28日　　正五位上勲五等太朝臣**太安万侶**

Ⓒ 風土記の編纂命令『続日本紀』

(和銅六年(**713年**))5月2日，五畿・**七道**諸国の郡・郷などの地名は良い字を選んでつけよ。その地域で産出する銀・銅・彩色・草木・禽獣・魚虫などの物は，その品目を詳しく記録せよ。……

Ⓑ 国分寺建立の詔『続日本紀』

（①天平十三年三月）乙巳，②詔して曰く，「……宜しく天下諸国をして，各敬みて七重塔一区を造り，并せて③金光明最勝王経，妙法蓮華経，各一部を写さしむべし。……④僧寺には必ず⑤廿僧有らしめ，其の寺の名を⑥金光明四天王護国之寺と為し，⑦尼寺には⑧一十尼ありて，其の名を⑨法華滅罪之寺と為し，両寺相共に宜しく教戒を受くべし。……」と。

〔①741 年　②聖武天皇が詔した　③金光明最勝王経は国分寺，妙法蓮華経（略称は法華経）は国分尼寺で読ませた経典で，ともに護国経　④国分寺　⑤20 人の僧　⑥国分寺の正式名称　⑦国分尼寺　⑧10 人の尼　⑨国分尼寺の正式名称〕

Ⓐ 大仏造立の詔『続日本紀』

（①天平十五年）冬十月辛巳，②詔して曰く，「……粤に①天平十五年歳は癸未に次る十月十五日を以て，③菩薩の大願を発して，④盧舎那仏の⑤金銅像一軀を造り奉る。……夫れ天下の富を有つ者は⑥朕なり。天下の勢を有つ者も⑥朕なり。この富勢を以て，この尊像を造る。」

〔①743 年　②聖武天皇が詔した　③衆生を救済しようとする菩薩の願い　④華厳経の本尊。俗に大仏という　⑤銅に鍍金した仏像　⑥聖武天皇〕

Ⓒ 古今和歌集仮名序『古今和歌集』by 紀貫之

①やまとうたは，ひとのこゝろをたねとして，よろづのことの葉とぞなれりける。世中にある人，②ことわざしげきものなれば，心におもふことを，見るもの．きくものにつけて，いひいだせるなり。花になくうぐひす，みづにすむかはづのこゑをきけば，いきとしいけるもの，③いづれかうたをよまざりける。

〔①和歌　②行うことが多い　③歌を詠まないものがあろうか〕

Ⓒ 土佐日記『土佐日記』by 紀貫之

をとこもすなる日記といふものを，をむな（女）もしてみんとてするなり。①そ（其）れのとし（年）のしはす（十二月）のはつか（二十日）あま（余）りひとひ（一日）のひ（日）の②いぬ（戌）のときに，かどで（門出）す。そのよし（由），いさゝかにものにかきつく。…

〔①紀貫之は 930 年に土佐守に任官，934 年に離任した　②午後 7～9 時〕

Ⓒ 源氏物語『源氏物語』by 紫式部

いづれの御時にか。①女御・更衣あまたさぶらひ給ひけるなかに，いと，②やむごとなき際にはあらぬが，すぐれて③時めき給ふありけり。……

〔①天皇の配偶者。序列は皇后（中宮）・女御・更衣の順　②身分・家柄が尊い　③寵愛を受ける〕

Ⓐ 浄土教『往生要集』by 源信

それ往生極楽の①教行は，②濁世末代の③目足なり。道俗貴賤，誰か帰せざる者あらむや。ただし④顕密の教法は，其の文，一にあらず。⑤事理の業因，其の行惟れ多し。⑥利知⑦精進の人は，未だ難しと為さざるも，⑧予の如き⑨頑魯の者，豈に敢てせむや。是の故に，念仏の一門に依りて，聊か⑩経論の要文を集む。之を披き之を修すれば，覚り易く行ひ易からむ。之を披きて之を修すれば，覚り易く，行ひ易からむ。惣べて⑪十門あり，分ちて三巻と為す。一には⑫厭離穢土，二には⑬欣求浄土，三には⑭極楽の証拠，……九には⑮往生の諸業，十には⑯問答料簡なり。之を座右に置きて⑰廃忘に備へむ。

〔①教えと修行　②けがれの多い末法の世。末法思想に基づく　③道しるべ　④顕教と密教。すべての仏教　⑤真理を悟るための修行　⑥賢くて仏道修行をしている人　⑦成仏するための修行　⑧源信　⑨かたくなで愚かな人　⑩経と論の重要な部分　⑪『往生要集』は十の章からなる。以下はその章の目次　⑫汚れた現世を厭い離れる　⑬浄土を願い求める　⑭極楽についての経典上の根拠　⑮極楽往生をするための種々の修行　⑯問答して他とはかりくらべる　⑰信心のすたれや忘却〕

Ⓒ 往生集（空也）『日本往生極楽記』by 慶滋保胤

①沙門空也は，②父母を言はず，③亡命して世に在り。或は云く，④潢流より出でたりといふ。口に常に阿弥陀仏を唱ふ。故に世に⑤阿弥陀聖と号づく。或は市中に住して仏事を作し，また市聖と号づく。

〔①僧侶　②父母の名前　③本籍地から逃亡する　④皇族の血筋　⑤阿弥陀仏を信仰して苦行する徳の高い修行者〕

Ⓒ 僧兵の横暴『源平盛衰記』

①白河の院は，賀茂川の水，双六の②賽，③山法師，是れぞ④朕が心に随はぬ者と，常に仰せの有りけるとぞ申し伝へたる。

〔①白河法皇　②さいころ　③比叡山延暦寺の僧兵　④白河法皇〕

Ⓑ 国分寺建立の詔『続日本紀』

(天平十三年(741 年 3 月))24 日，(**聖武天皇**は)詔の中で次のように述べられた。「……諸国に命じて各々七重塔一基を建立し，**金光明最勝王経**(**国分寺**で読ませた護国経)・**妙法蓮華経**(**国分尼寺**で読ませた護国経)を各一部を写させよ。……僧寺(国分寺)には必ず僧 20 人を置き，**金光明四天王護国之寺**(国分寺の正式名称)と名づけ，尼寺(国分尼寺)には尼僧 10 人を置き，**法華滅罪之寺**(国分尼寺の正式名称)と名づけ，両寺ともに仏の教えと戒律を伝えよ。」

Ⓐ 大仏造立の詔『続日本紀』

(天平十五年(743 年))冬 10 月 15 日，(**聖武天皇**は)詔の中で次のように述べられた。「……天平十五年(743 年)10 月 15 日をもって，普く衆生を救済しようという菩薩の願いを起こして，**盧舎那仏**(俗に大仏と呼ばれる華厳経の本尊)の金銅像一体をお造りする。……**天下**の富をもつ者は私(**聖武天皇**)であり，**天下**の勢いをもつ者も私(**聖武天皇**)である。この富と勢いとをもって仏の尊像をお造りする。」

Ⓒ 古今和歌集仮名序『古今和歌集』by 紀貫之

やまとうた(**和歌**)は，人の心を種として，多くの言葉となって出たものである。世の中の人は，様々なことを行うので，そうした行いの中で，心で思ったことを，見るもの聞くものにつけて口に出していうのである。花のもとで鳴く鶯や水中に住む蛙の鳴く声を聞けば，生きとし生けるもの，歌を詠まない者がいるだろうか。

Ⓒ 土佐日記『土佐日記』by 紀貫之

この日記は，男が書く日記というものを女も書いてみようと思って記したものである。ある年(紀貫之は 930 年に土佐守に任官し，934 年に離任した)の 12 月 21 日の戌の時刻(午後 7～9 時)に旅立ったのだが，その旅の事情を少々書き記したものである。

Ⓒ 源氏物語『源氏物語』by 紫式部

どの帝の時代のことであろうか。多数おられる女御・更衣(天皇の配偶者で，序列は皇后(中宮)・女御・更衣の順)の中に，それほど高い家柄の出身ではないが，特別に帝の寵愛を受けられた女性がいた。

Ⓐ 浄土教『往生要集』by 源信

往生極楽(極楽浄土に往生)するための教えと修行は，けがれの多い末法の世(**末法思想**に基づく末法の世)における道しるべとなるものである。僧も俗人も，貴族も庶民も皆この教えに帰依しない者があるだろうか。**顕教・密教**といった仏教の教えは，経文も一つではなく，成仏するための修行も多い。知恵があり仏道修行に励んでいる人ならば，それほど難しいことではないだろうが，私(**源信**)のような頑なで愚かな者には，到底できないことである。こうした理由で，**念仏**の教えに限って，経論の中の重要な部分を集めてみた。この書を開いて修行すれば，教えもわかりやすく，修行も行いやすいであろう。内容は全部で 10 部門であり，3 巻から成っている。(その 10 部門は)第 1 は汚れた現世を厭い離れること，第 2 は浄土への往生を願い求めること，第 3 は極楽浄土が最も尊いという根拠，……第 9 は極楽往生するための種々の修行，第 10 は問答によって他の教えと比較することである。この書を身近において，信心が弱まったり忘れそうになったりした時の備えとしたらよかろう。

Ⓒ 往生集(空也)『日本往生極楽記』by 慶滋保胤

僧侶**空也**は，自分の父母の名前を言わず，本籍地から逃亡して世にいる。ある人は，皇族の流れをくむ出身であるという。常に南無阿弥陀仏を唱えている。そのため周囲からは**阿弥陀聖**とよばれる。また市中に住み仏教を説いているので，**市聖**とも呼ばれている。

Ⓒ 僧兵の横暴『源平盛衰記』

白河法皇は，賀茂川の洪水，双六のさいころの目，**山法師**(**比叡山延暦寺**の僧兵)，これが私(**白河法皇**)の思い通りにならないものであると，常におっしゃっていたと伝えられている。